

小田原

広

報

まちづくり情報誌

1999 7月号
/1

平成11年7月1日発行
No.750

マイペースで歩こう

城下町おだわら
ソーデーマーチ
開催決定 11/20
~21



これは参加したい！

歩く、歩く

第1回 城下町おだわら ツーデーマーチ



11/20(土)・21(日)

問 健康ウォーク大会事務局 ☎ 33-1663

だれでも楽しめる

「ウォーキング」が注目されています。「歩く」ことは特別な道具もいらないし、いつでも、どこでも、年齢に関わらずだれでも楽しめて、健康にも効果があるので、スポーツとしても見直されています。

県内初の公認ウォーク大会だ

小田原で初めて開かれる全国規模の本格的なウォーク大会。実行委員会も設立され、各種ボランティア団体も参加して、いよいよ市民手づくりの大会を目指して準備に入りました。

歩き方自由

この大会は、コースの選定から歩き方まですべて参加者に任されています。自分にあつたスピードで歩き、休憩や食事参加者の自由です。家族連れやグループでの参加が多いことも特徴です。

新しい発見がある

「こんなところにお地蔵さんがあつたんだ」「あの川はこの川とつながってたんだ」なんてことも。いつもは車で通り過ぎていたところも、歩いてみると新しい発見があるものです。忙しい現代人。歩くスピードが、人間本来のリズムを思い出させてくれるのかもしれない。

参加者は全国各地から

小田原の豊かな自然と歴史・文化を求めて、全国各地から参加者がやってきます。市民の皆さんも参加して、交流を深めましょう。いっしょに歩いて、話がはずんだ相手は遠くからの参加者かもしれません。新しい出会いはワクワクしますね。

城下町おだわらツーデーマーチは

レインボープロジェクト

のリーディング事業の一つです

レインボープロジェクト

レインボープロジェクトって何？

問 企画政策課 ☎ 33-1305

レインボープロジェクトは、小田原市の総合計画「ビジョン21おだわら」の中で、平成16年度までに重点的に取り組む施策をまとめたものです。まちの活力を生む「交流の舞台づくり」を目指す、小田原の明日へわたす

虹の架け橋となるものです。

ここに掲載したのは、レインボープロジェクトの指標となる12本のリーディング事業です。これから、毎月1日号でそれぞれの事業を紹介していきます。

小田原がどこへ向かおうとしているのか、しっかり見据えていきましょう。

① 小田原駅東西自由連絡通路

神奈川の西のゲート、小田原の新しい顔が誕生します。詳しくは5月1日号に。

② 小田原用水の復元

早川から引水した小田原用水を復元し、まちにせせらぎがよみがえります。

③ 城下町夢道づくり

国道1号などを、電線類を地中化して魅力ある空間と街並みを創出します。

④ ふるさとの森・川・海づくり

いのちの源、森・川・海を大切に、環境を守ることを育てます。

⑤ 環境先進都市の推進

電気自動車を増やし、風などのエネルギーを利用します。環境先進都市の自覚です。

⑥ 西部丘陵整備計画策定

小田原駅に近く、緑豊かな西部丘陵地に、自然と調和する情報基盤を整備したまちづくりを進めます。

■コース

(日本市民スポーツ連盟公認コース)

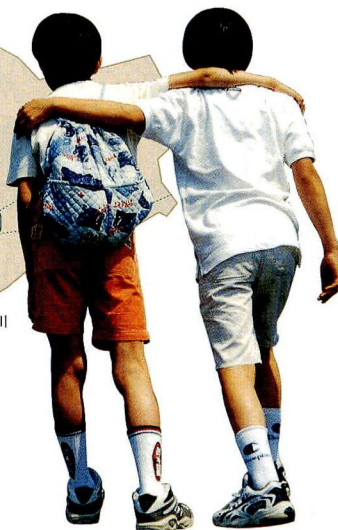
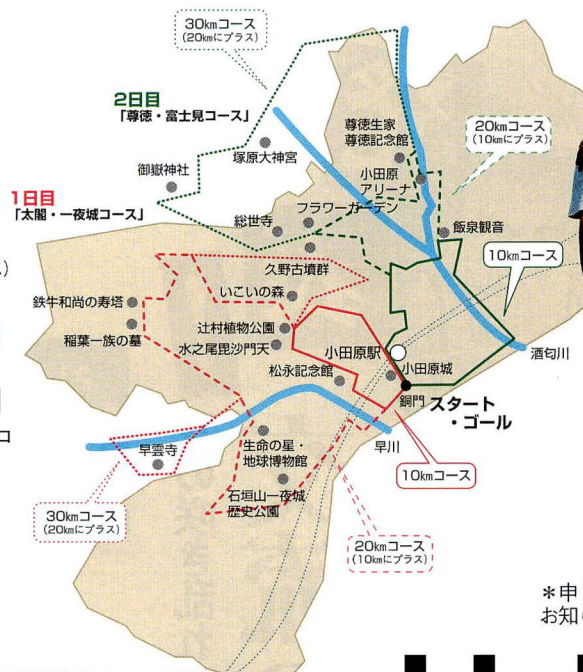
1日目…11月20日(土)

「太閤・一夜城コース」

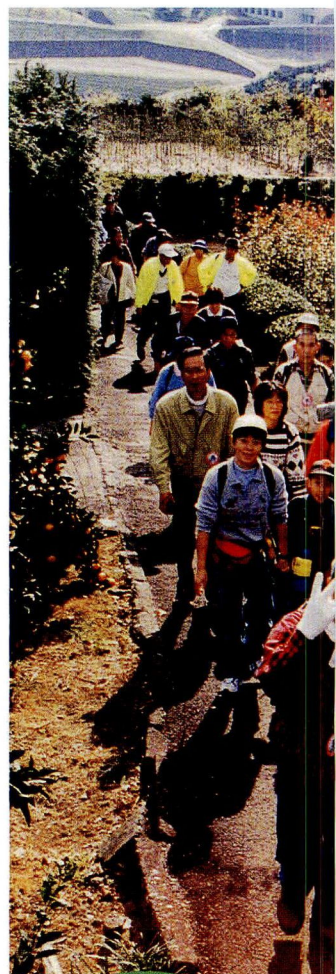
2日目…11月21日(日)

「尊徳・富士見コース」

*両日とも30・20・10kmの3コースあり。



*申し込み方法は、本誌7月15日号でお知らせします。



■期日

11月20日(土)・21日(日) 雨天決行
一日だけの参加も可能

■スタート・ゴール

小田原城址公園二の丸広場

■参加資格

健康な状態で参加できる方。
小学生以下は保護者同伴で。

■参加費

大人 2千円
18歳以下 千円

参加者にはバッジなど記念品を贈呈

完歩者には完歩証を授与

山崎賢藏さん (75歳 本町在住)



全国に先駆けて、昭和40年、小田原に「歩け歩けの会」を設立した発起人の先輩たちと共に全国各地のウォーク大会に参加。とくに東松山市のスリーデーマーチでは4年連続で完歩を果たした。

寄り道自由 それがウォークの魅力

「いろいろなウォーク大会に参加しているうちに、全国各地に知り合いができましたね。今では、知人が小田原を歩きたいと言えば市内各所を案内しますし、私が行きたいところがあれば知人が案内してくれます」。おかげで全国を歩き回り、小田原のことも深く知ることができたという。

「とくに東松山市の大会は、思い出深いですね。沿道の家が水や食べ物を振る舞ってくれますし、お寺は休憩所に早変わり。住職が土地の歴史や言い伝えを語ってくれます」。まさに市をあげてのイベントになっているようだ。「城下町おだわらツデーマーチもそんなイベントに成長していったらいいですね」。

「ウォークの魅力は、自分のペースで歩けることではないでしょうか。時間を競って歩く、競技指向もよし、寄り道自由もよし」。参加してみればわかるウォークの

楽しさといったところだろうか。話を聞きながら、小学生のときワクワクした遠足を思い出した。



ウォーク大会では必ずかぶるという帽子。数々のバッジは山崎さんの勲章だ。



12 子育て支援

子育てしやすいまちがいいですね。ファミリー・サポート・センターは6月1日号に。

11 (仮称)小田原子供のもり公園

来年オープンするビッグな公園。親子で楽しめます。詳しくは4月1日号に。

10 西湘テクノパーク

環境に配慮した工業団地に企業を誘致します。まちの活力につながります。

8 海・山ふれあい拠点の整備

自然の中の体験交流施設は、心身がリフレッシュします。

9 城下町おだわらツデーマーチ

豊かな自然と歴史・文化を生かした全国規模のウォーク大会を開きます。

7 (仮称)城下町ホール建設

三の丸地区に建設するこのホールは、おだわらの文化・芸術の殿堂になることでしょう。

城下町おだわらツデーマーチは、今年から毎年開催していきます。お楽しみに。



発

表

花の咲き乱れるまち・風格のあるまち

交流のまちづくり構想

花のおだわら・四季の花咲くまちづくり
花のおだわら運動

日本人は、最も花を好む国民と言われています。

城址公園の桜、長興山のしだれ桜、曾我の梅林などには、毎年多くの人々が訪れています。四季折々の花や緑に囲まれた都市は、人々の心をなごませます。

そして近年、ガーデニングがブームになっていることもあり、花は、多くの人々が関心を持つテーマと言えるでしょう。今後、市民と行政とで協力しながら、花いっぱいのもち

21 世紀のおだわらは？ 花と工房で仕掛ける 交流のまち

今、小田原市は、「花」と「工房」をテーマとしたまちづくりを進め、内外にその魅力ある個性を発信し、人々を引きつけようと考えています。

平成10年4月にスタートした総合計画「ビジョン21おだわら」では、これからの都市の発展を「交流」というキーワードでとらえています。「交流」とは、小田原を舞台に異なる地域の人・もの・情報が交わることで、まちが活気づき、市民も都市も成長していくという考え方です。

それにはまず、小田原の個性に磨きをかけて、

交流の舞台に値する魅力あるまちをつくらなければなりません。そこで、平成10年は観光元年と位置づけて、小田原城銅門、歴史見聞館、街かど博物館、白秋童謡館、小田原駅観光案内所、三の丸売店をオープンさせるなど、訪れる人をもてなし感動を与えるという視点で、施策を展開してきました。

こうした取り組みをさらに進め「交流」を深めていくために、都市を商品として売り出すという発想で、「交流の仕掛け」づくりをしていくのです。



フラワーガーデン友の会 活動中！

＊こんなまちになったらいいな＊

小田原ブランドの商品を買うお客さんで、「モデルショップ（オリジナル商品を販売する専門店）」は大にぎわい。ものづくりの中心である工房には、それを作った、熟練した技を持つマイスターがいます。マイスターのもとには、創造性豊かで優秀な技術者が集まり、人材や情報が行き交っています。

魅力的な商品があふれている小田原は、優れた技術を持つ職人と品質の高い製品があるまち、そしてものづくりの精神のあるまち。工房は、市民の誇りになります。



現代は豊かな時代で、身の回りに物があふれている状態です。そして、高度成長のころの大量生産・大量消費・低価格という時代から、今は「多少値段が高くても、品質が良くて本当に自分が必要なものを手に入れる」という風潮に変わりつつあります。人々は本物志向になり、手作りのものを見直したり、シンプルで実用的なものや環境にやさしいものを求めたりと、ニーズも多様化しています。商品の市場が世界規模に広がっている今、日本そして

創り、売り、伝える 工房のまち
都市づくり
工房文化

お城名物の桜と藤も…

今私たちを楽しませてくれている、お城周辺の桜や梅、そして藤やつつじといった花々。この中でも、今や小田原の花の名所として欠かせない桜と藤は、明治時代にできた小田原保勝会という団体が、小田原城を花いっぱいであらうと計画して植えたものです。

計画の途中で関東大震災に遭い、目的は最後まで果たせませんでしたが、次の世代に美しい景観を残してくれました。

小田原は自然の豊かなまち。もしこのまちのどこにもきれいな花や木々の緑がなかったら、殺伐とした風景の中で心なごむこともないでしょう。

みんなで協力して花を育てることで、自分の住んでいるまちが花いっぱいになります。そして、市全体が花の名所となるようなまちを目指しています。

小田原が発展し続けるためには、新しいものや価値を創造することに、再び挑戦する必要があります。

小田原の創造性をブランドにかつて「工房」と言えば、単なるまち工場ではなく「創造」の現場でした。工房には、まちの歴史とともに歩んできた、ものづくりに関わる人材・技術・知識・デザイン・イメージなどが集まっています。

工房のあるまちに、人々は「風格」をイメージします。歴史を振り返ってみても、繁栄していた都市は、ものを作り、売り、役立つ情報を発信する機能を備えていました。今でも、ベネチアと言えばガラス、ミラノと言えばファッションなどと、まちそのものの個性として製品が取り上げられる所があります。

また、ドイツのビールやベルギーのチョコレートなど、イメージが定着して製品も人も大切にされている所もあります。

づくりを進め、うるおいとやすらぎのあるまちをつくるために、さまざまな事業を展開していく予定です。

特に、城址公園や城址周辺を花でいっぱいにし、小田原固有の財産に花の魅力を加えて、四季を通じて歴史と花にふれあえるまちをつくりまします。

＊こんなまちになったらいいな＊

四季折々の花で囲まれている城址公園は、いつでも大勢の人の目を楽しませています。城址公園や公共施設の花壇は、市民ボランティアの手によって、いつも美しく管理されています。フラワーガーデンは、花と緑の拠点としてにぎわっています。通りは、さまざまな花で飾られていて、庭やベランダを花で飾った家も多く見られます。

そこで、小田原のものづくりの現場で創造的な人材をばぐくみ、創造的な製品を生み出すことで、小田原の経済を着実に発展させていこうと考えています。

小田原には、木製品・竹製品・鋳物・水産加工品・酒・漬物・菓子といった、土地に根付いた産業があります。そこで、小田原の工房から作り出される創造的な製品を、世界に誇る価値のある商品に高めるように取り組んでいます。たとえば、これらの製品を「小田原ブランド」として売り出したり、卓越した技術者を「マイスター」として認定し、活動を支援していったります。

「小田原」という地名を聞くだけで、「いつか行ってみたい」「できることなら住んでみたい」と思えるような、魅力的なまちにしたいですね。

小田原市の財政状況

問財政課
☎33-1311

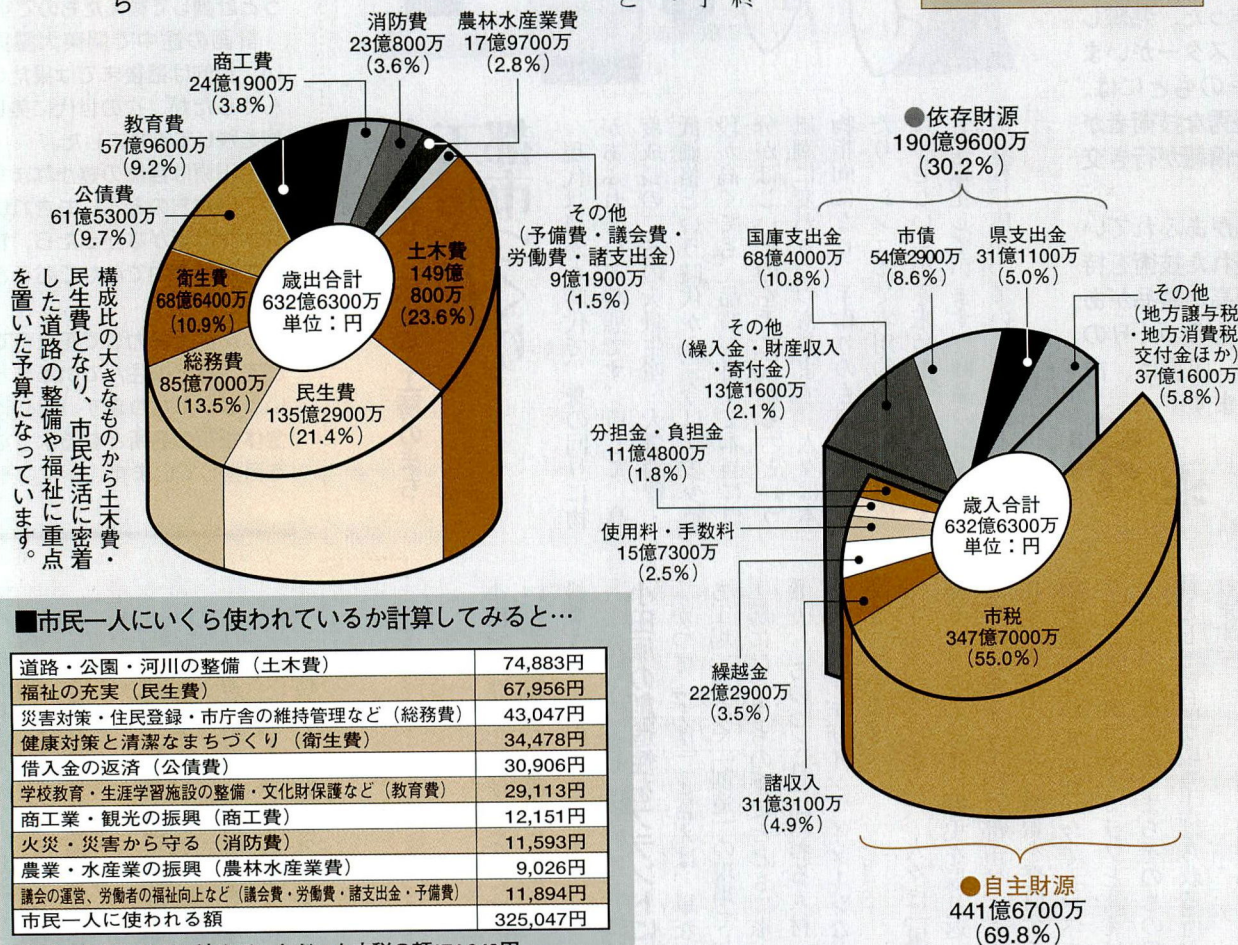
毎年6月と12月に公表している小田原市の財政状況。今回は、平成10年10月1日から今年の3月31日までの状況です。

平成10年度の一般会計最終予算

一般会計では、補正した結果、予算は最終的に632億6300万円となり、当初予算に比べて、42億6300万円増えました。平成10年度に行った主な事業は、次のとおりです。

- かながわ・ゆめ国体の開催
- 広域避難所（小学校）へのケーブルテレビの設置や災害弱者用資機材などの整備
- 印鑑オンラインシステムの導入
- 小田原城歴史見聞館の開館
- ガイドヘルパー派遣事業
- 小田原漆器後継者育成事業
- 北条サミットの開催
- 市民大学報徳塾の開設

平成10年度の決算状況は、広報おだわら来年1月号でお知らせします。



自主財源は、皆さんの納めた税金など市が直接調達できる財源です。依存財源は、国や県から入ってくるお金で、額や使い道が国の基準で定められている財源です。

市長随想

催眠特効薬

文 小澤良明

枕頭まくらにCDラジカセが鎮座ましまして。

最近年のせいだろうか、夜中に何度か目が覚める。「疲労は最善の枕である」と言われるがそのまま直ぐ寝入ってしまうことはまれで、気掛かりな問題や忘れていたことがふと脳裏によみがえり徐々になくらんで来る。心配でたまらなくなってます。目が冴えてくる。朝起きたら早速あゝ、もしよう、こうもしようと種々思い悩んでいる内に何故か無性にシヤクにさわるようなこともあったりして、カーと身体が熱くなったりする。こうなるともう一、二時間はお手上げである。深夜に考えた結論を出したりするとロクなことではないと過去の体験で判っているのだが、思考は迷路に入り込む。羊が一匹、二匹…なんて全く効かない。

幼い頃からの癖で、少しでも時間がある時は必ず何かの本を読む。乱読だがそんな毎日だった。今でも枕元には必ず読みかけの本がある。かつてはそれこそ目が疲れて自然に眠り込んでしまうまで何時間でも読みふけた。しかし近頃ではほとんど読み始めたら面白くて止められないようなサスペンス小説や活劇ものの類いしか置いていないし、目もやられるので

平成10年度の 特別会計最終予算

特別会計は、特定の事業を行うために、一般会計と区別して経理するための会計です。小田原市では競輪や下水道、国民健康保険などをこの特別会計で経理しています。

■特別会計最終予算

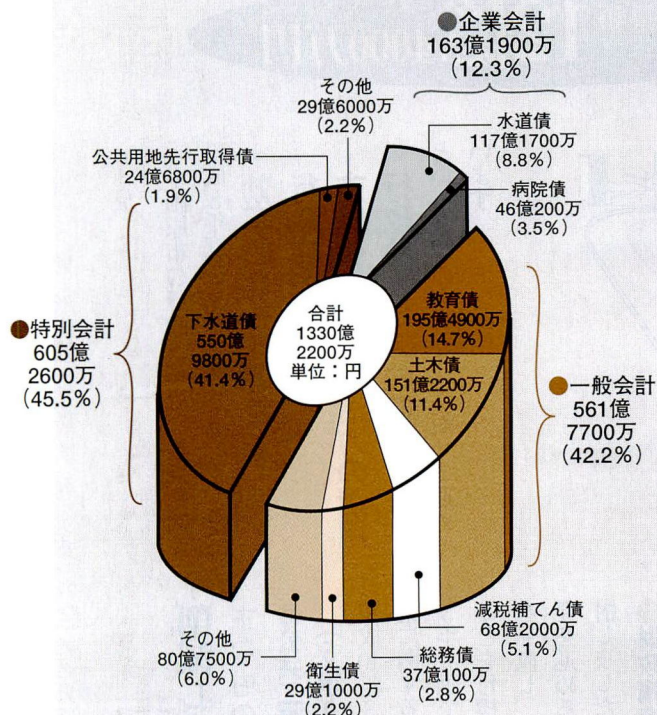
単位：円

競輪	260億 700万
老人保健医療	142億1100万
下水道	135億3300万
国民健康保険	118億3100万
片浦地区簡易水道	2億5800万
公設地方卸売市場	2億5500万
天守閣	1億8700万
成田・桑原土地区画整理	1億2700万
公共用地先行取得	8900万
交通災害共済	8500万
国保診療施設	3500万

長期借入金 の状況 (平成11年3月31日現在)

小田原市が抱える借金の内訳です。長期借入金の総額は、1330億2200万円、市民一人あたりに換算すると、66万8167円になります。

この借入金の返済にあてられているのは、歳出の中の公債費で、平成10年度は61億5300万円が使われました。



詳しい内容を
知りたい方は

行政情報センターと図書館に、予算書や決算書などを閲覧できるように用意してあります。FAXによる情報提供も行っていますので、あわせてご利用ください。

ファクシミリサービス

おだわら・くらしのテレフォンガイド

☎33-1266 (サービスコード825)

■水道会計最終予算

単位：円

	予算現額
収益的収支	収入 40億 500万
水をつくり、送り届ける予算	支出 36億9900万
資本的収支	収入 4億 500万
水を送り届ける施設を造る予算	支出 16億6500万

参考

・給水戸数	63,090戸
・給水人口	179,427人
・給水量	23,421,769m ³
・1日平均	64,169m ³



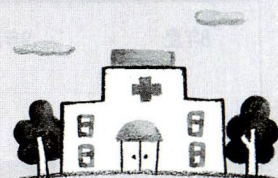
■病院会計最終予算

単位：円

	予算現額
収益的収支	収入 100億7100万
病院を運営する予算	支出 100億7000万
資本的収支	収入 2100万
施設などを整備する予算	支出 5億4800万

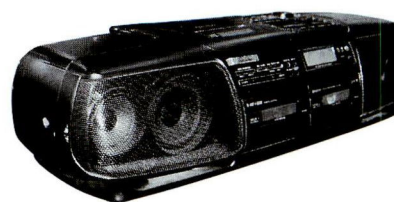
参考：利用者数

・外来 実患者数/年	232,822人	・入院 実患者数/年	12,289人
延患者数/年	408,650人	延患者数/年	144,677人
1日平均患者数	1,688人	1日平均患者数	396人



あえてそんな時は手に取らない。翌日の仕事に差し支えたら多勢の人に迷惑をかけるからである。

いずれにしても目から駄目なら耳からということ。CDラジカセのお出ましになった。クラシックならゆったりかつ荘重なウインナワルツ。ピアノやヴァイオリン曲は案外心が波打つ。軽音楽ならのどかでカントリー風なニューアメリカンミュージック。勿論ジャズや演歌はノーサンキュー。講演テープなら男性の低音な声で内容も硬めのもの、ラジオなら賑やかな宣伝の入らないNHK第一放送。これが私の催眠特効薬である。雑念や心配事が頭からどん／＼離れていつ、逆にかすかに聞える柔らかなトーンのむずかしい話がスナナリ私を夢の世界へ導いてくれる。そんなことで今、ラジオ放送が経済や環境問題等の講演テープがお気に入りである。三十分で自動的に電源オフになるようにセットしておくのだが、五分と聴いた記憶がない。ネムレナイ症候群は現代のストレス社会の流行病のようである。人は余り静粛過ぎて眠れない。だから人工的に心地良い音環境をつくり出せば良い。不眠でモンモンとお悩みの方、如何でしょうか？



行政改革

問事務管理課
☎33-1255

もつともつと

効果額 平成10年度 **12億4000万円**

平成8年度から取り組んできた行政改革。急激な社会情勢の変化と厳しい財政状況の中、豊かで住みよい都市形成のための新たな行政運営に向けて、着実に進めています。

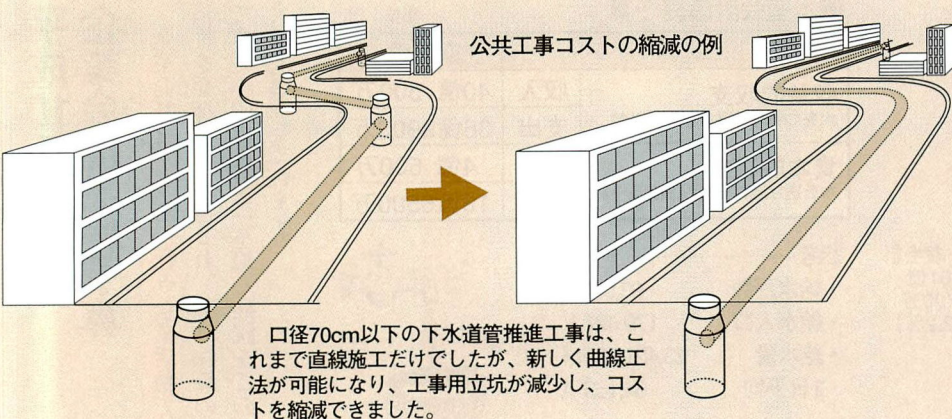
今回は、平成10年度末現在の主な実施内容と、その成果についてお知らせします。評価するのは市民の皆さんです。

小田原市の行政改革は、推進期間を平成8年度から12年度までの5年と定め

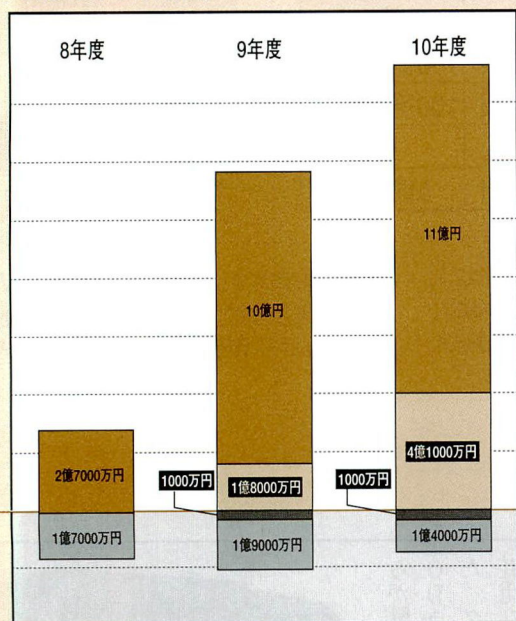
- ・効率的な行政運営と行政能力の向上
- ・市民参加と民間活力の活用
- ・行政サービスの向上

という3つの大きな柱に沿って進めています。

公共工事コストの縮減の例



3年間(平成8～10年度)で
34億8000万円



●新しいサービスに投資した金額

～円)の数字は、人件費のように見直しの効果が翌年度以降も継続するもので、その効果額は各年度に積み上げています。行政改革で取り組むことになっているのは260項目。取り組み状況は85.4%です。

削減しました『11億円』

主なもの

●公共工事コストの縮減
(5億5千万円削減)

平成10年3月「公共工事コスト縮減対策に関する行動計画」を策定しました。3年計画で10%程度コストを縮減することを目標に、計画や設計手法や材料を見直し、品質を確保しながら技術開発を進めるなど、すべての事業を再検討しました。

●財政構造の弾力性の確保
(2億円削減)

平成11年度予算編成の時に、時間外勤務手当・休日勤務手当・物件費などの経常的経費を削減しました。

●職員数の削減
(2億5千万円削減)

前年度と比べ31人を削減しました。

新しいサービスに『1億4千万円』

主なもの

●低公害車の走るまちづくり
10年度はハイブリッドバスなど3台を導入しました。

●観光おだわら魅力アップ委員会の設置

●情報学習の充実

市内中学生が情報を受発信するホームページ「キッズシティ」を開設しました。

●利用者に優しい施設の整備

高齢者や身障者の方が利用しやすいようトイレなどを改修しました。

●本庁・支所のオンライン化

印鑑登録をオンライン化して、窓口での待ち時間が短くなりました。

●おだわら国際交流ラウンジの開設
外国籍住民などへの情報提供といった、活動拠点として開設しました。

目標を達成！

女性登用率 30%超える

— 審議会などの女性委員 —

まちづくりに女性の意見は欠かせません。市では、審議会などの女性委員の比率を平成12年に30%とすることを目標に、女性の登用を進めてきました。

皆さんの生活に大きく影響する市の施策や事業は、多様な市民ニーズにこたえるため、市民の代表や学識経験者などで構成する審議会などの意見を聞きながら進めています。4月1日現在、49の審議会で665人（うち女性202人）の方が、委員として活躍されています。その委員の中で女性が増えていくことは、ますます市の施策や事業に女性の意見が反映されることになるわけです。

そして、4月1日現在で女性委員の割合は30.4%となり、1年早くこの目標を達成することができました。30%を超えるこの数字は、県内でも非常に高い数値です。

今後も市政に女性の意見を生かすため、最終的に女性委員の割合が構成員のほぼ半数（40%以上60%未満）になることを目指して、4月にスタートした「おだわら女性ビジョン」の中で、女性登用を進めていきます。

●あなたも登録しませんか おだわら・おんなのデータファイル

市内で活躍している女性、社会参加に興味のある女性に登録していただき、審議会の委員などに女性が参加するための人材情報として活用します。登録用紙は女性行政課（市役所5階）にあります。

●あなたも参加しませんか 女性カレッジ

地域での女性リーダーを養成し、政策や方針を決定する過程への女性の参加を進めるために、行政や地域社会・女性問題に関する学習の場として、今年も9月から11月にかけて開きます。詳しくは広報おだわら8月15日号でお知らせします。

問女性行政課 ☎33-1725

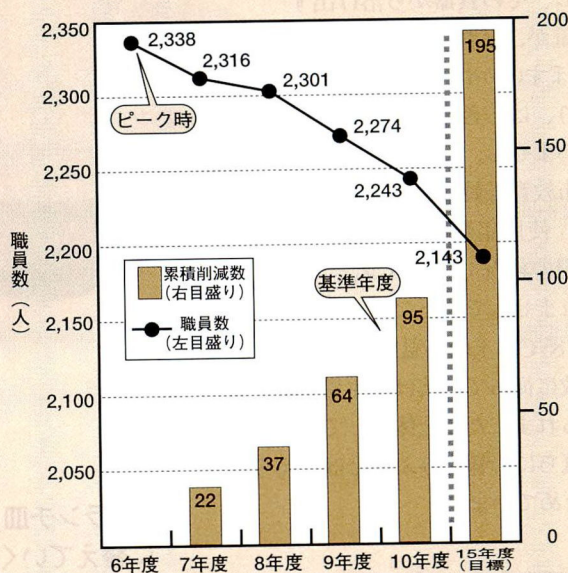
ひとこと物申す 行革のご意見番から

- 「行革には、その実績を数値で表せる項目とできない項目があるが、委員会としては評価を分かりやすい指標にして、市民に公表していきたい」。
- 「公用車を使うときは、導入した低公害車から優先的に利用していくようにして、低公害車の効果的な活用を図ってほしい」。
- 「住民票の自動交付機での受け取りなど、市民の立場に立った利便性の追求を検討していただきたい」。
- 「税収確保の問題とともに、市の財政運営については、長期の財政計画を立てる必要がある。家計を切り盛りする感覚で、徹底的に節約して市政に取り組んでほしい」。



市の行革を監視する行政改革推進委員会からいただいたさまざまな意見を取り入れ、今後もよりよい行政運営に取り組んでいきます。

加藤良三委員長（前列左）をはじめとする行政改革推進委員会の皆さん



平成7年度以降すでに職員を95人削減していますが、さらに平成10年度から5年間で100人以上削減する数値目標を設定しました。

平成11年度は、市役所が一丸となって「1課1廃」運動・「1課1新企画」運動に取り組むほか、市税滞納額の解消と税負担の公平化を図る観点から（仮称）市税滞納審査会を設置したり、各種情報の迅速な受伝達を可能にする情報通信網を庁舎内に構築したりしていきます。

小田原市の学校給食 替えますPC食器

学校給食に使われているポリカーボネート(PC)食器から、環境ホルモンの一つビスフェノールAが溶け出しているのではないかとの問題で、市教育委員会は、PC食器を交換することにしました。

環境ホルモンて何？ 影響は？

環境ホルモン。新聞やテレビなどで毎日のように取り上げられ、頻繁に目にする言葉です。「外因性内分泌かく乱化学物質」と呼ばれるもので、動物の体内に取り込まれると、正常なホルモン作用に影響を与える外因性の物質です。生殖機能を阻害したり、悪性腫瘍を引き起こす可能性が指摘されています。PC食器の成分として使われているビスフェノールAは、女性ホルモンに似た作用があるとされています。

しかし、その食器から溶け出すほどの量が、どれほど人体に影響を及ぼすのかはまだ調査段階であり、はっきりとした結論は出ていません。

横浜市教育委員会が行った調査結果では、使用年数が3年以下ならば、通常使用の状況ではビスフェノールAは検出されませんでした。

一方、85℃以上の高温での溶出試験では、使用年数に従って、溶け出す量が増える傾向が見られました。全体としては、児童の健康に直ちに影響を与えるとは考えられないとまとめています。

小田原市の食器は

小田原市の給食で使っている食器のうち、ポリカーボネート製の食器類は、学校給食センターで共同調理されている8中学校、5000食分の「ランチ皿」「汁わん」と、20の小・中学校、1万食分の「はし」で使われています。

そこで、市では疑わしい食器はできるだ

け使わないという方針に従い、順次、PC食器を廃止していくことにしました。

①比較的高温で使われる「汁わん」は、夏休み中にすべて強化磁器製のものに替える。

②「はし」は、1学期中にすべてアミハード(強化ナイロン樹脂)製のものに替える。

だろうと思われる方もいると思います。ポリカーボネート製の「ランチ皿」は、学校給食センターで共同調理されている5000食分で使われていて、これら大量の食器は機械で洗浄・消毒されています。ランチ皿の素材や形を変えると、重さやかさばり具合も変わるため、この洗浄機や保管庫、配送コンテナなども替えていかなければなりません。

この交換には約2億4000万円の経費が見込まれていて、単年度で対応できる金額ではありません。

そこで、市では、計画的に数年かけて替えていこうと検討しているところです。

昨年の11月の厚生省の中間報告や横浜市の調査結果から、直ちには生徒の健康に影響があるとは考えられない点、「ランチ皿」は高温の食材を盛ることがない点、洗浄機などの交換に高額の経費がかかる点などを考慮して、この方針としたものです。

事は児童・生徒の健康に関わることです。市では引き続き、食器の健康への影響度について、各研究機関の調査結果に注視して、慎重に対応を進めていきます。

③「ランチ皿」は、数年かけて計画的に替えていく。

③の「ランチ皿」はなぜ、すぐに替えないの



●PC製ランチ皿・汁わんを使っている学校
城山・白鷗・白山・鴨宮・千代・酒匂・泉・城北の各中学校

●PC製はしを使っている学校
三の丸・新玉・足柄・芦子・大窪・早川・山王・久野・町田・下府中・桜井・千代・下曾我・国府津・酒匂・曾我・矢作・報徳・富士見の各小学校・国府津中学校

お詫びと訂正:6月15日号に掲載いたしました「歌会始めの詠進歌」の応募方法に誤りがありました。

(誤)はがき→(正)封書

●生涯学習課 ☎33-1721



今から70年前の昭和初期、初夏の国府津海岸では赤ウミガメの産卵を見ることができたという。

「当時は、この浜辺にカメが産卵のため上陸したのを、何度か見たよ。体長が1m以上もあるものだから、見つけた時はびっくりさ」。

国府津駅前で旅館業を営み、日本魚の会会長の箕島清夫さん(84歳)は、海をながめてなつかしそうにこ

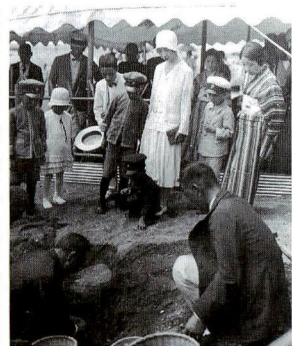


う語った。カメが産卵すると、村役場の職員がそれを掘り出して調査し、埋め戻してからふ化するまでの40日間、その周りをさくで囲っていたという。

体長1m80cm・70kgの大ガメが300個の産卵をしたときは、大フィーバーになった。たいへんめでたいということで東京のデパートのバーゲンセール用のポスターにも、このカメが使われた。

箕島さんは中学生の時、カメの赤ちゃんが海に戻るシーンも目撃していた。

賀陽宮妃殿下中央、若宮殿下制服姿が、カメの卵の調査を見守っている。この写真を提供してくれた長谷川さんの祖父(一番左)が当時の町長として立ち会っている。(昭和5年)
提供…長谷川義正さん(国府津)



国府津海岸で産卵 赤ウミガメ

産おの龜いたでめお

七月十八日より
七月廿九日まで
夏の行楽の會
海水用具陳列會
東京日本橋 三越

これは龜のお母さんで、長さが六尺、二十貫余も御座あます。去る六月十九日、めでたく東海道國府津の海岸で三百余の卵を生みました。この卵は砂に埋められ、凡そ三、四十日目まで龜の赤ちゃんとなつて一齊に海に向つて大行列を始めます。みな揃つて海に向つて這ひ出して陸の方へは一行かぬ匹とも申しませぬ。すなわち龜の不慮の思ひが、さういふことだ

「午前4時、まだ薄暗いころ、日課のシラス網を引きにいったら、ふ化したカメの赤ちゃんが海に向かって歩いてた。一列になっておびえたようにきよろきよろしながら、ヨチヨチ歩いてたのは今でも忘れないよ。本能だねえ。カメの頭をちょいとおつまんで陸の方に向けても、くると海の方へ頭を向け直してヨイコラ歩き出すのさ。何度やっても、同じ仕草をするのがおもしろくて、近所の友達といたずらしたよ」。

現在、赤ウミガメは神奈川県で絶滅危惧

種に挙げられている。その産卵は、相模湾全体でも最近30年間でわずか27例を見るだけである。

きっとまたいつか国府津の海岸に現れてくれる日がくるだろう。

国府津海水プールを
今年度から無料とします

7月1日～8月31日

なお、国府津海水浴場は閉鎖します。

問 観光課 ☎23-1373

懐かしい思い出いつまでも…

古い写真の複写

お気軽にご相談下さい。

アキオスタジオ

小田原市栄町2-8-32(水曜休み)

phone. 0465-22-3836

広告

味の手作り工房 菜根淡

お腹いっぱいになればいい、なんて食事じゃ寂しい。食べ終わったら心もゆったり満たされているような、そんな食事こそが“幸せ”だと思います。毎日、幸せなごはんを食べれば健康にだってきっと近づく。今日も愛情をこめてお惣菜・お弁当をつくっております。

菜根淡2階に隠れ家あり!
1日2組のおもてなし。2,500円～5,000円コース 要予約
2名様～12名様まで 内容はお問い合わせくださいませ。

お弁当 & お惣菜の店 菜根淡 さいこんたん
栄町1-16-38 ☎24-3027

天巻きの 大黒屋長工門
扇町1-25-21 ☎35-0718

小田原 栄町 大黒屋長工門

小田原録音奉仕会

めいりょう
正確に明瞭に、聞き取りやすく。
そういうテープづくりを目指して

小田原駅西口から徒歩5分。社会福祉センターの4階に到着すると、静かな昼さがりとは別世界。忙しく緊張感あふれながらも、ときおり笑い声を響かせ一生懸命に作業に打ち込む人たちがいた。このグループが録音奉仕会だ。

会員53人、担当制でほぼ毎日、視覚障害者のために音声テープの作製を行っている。広報おだわら・市議会だより・自治会だよりをはじめ、自主発行のテープ雑誌「やまびこ」



など9種類を音声化しているという。

仕事を持っている方が40%。貴重な時間を費やしているため、作業は真剣。障害者

にとって音は命。はっきり、わかりやすく録音をするため、勉強会や講座も開いているという。ちなみに、広報おだわらをテープ化するには2.5日間。

「人に何かをしてあげているということがうれしいのではなく、自分がボランティアに目覚めたということがうれしい」「ありがとうのひとつで元気100倍。いままでの恩返しを社会にしたい」「人にもものを伝えることの大切さが身にしみてわかる」と一人ひとりの活動が本当に自然体なのである。

自ら「やまびこ」を発行するようになってから、新聞・雑誌などの見方が変わったと

まいたうん レポート



いう。「取材したことを、人に伝えることは難しい。広報おだわらも、取材記事が多いのですが、これからも頑張る」と反対に励まされてしまった。明るく元気な人がいる小田原の未来は明るい。

これでいいの？子どもの生活習慣 生活習慣病予防指導用冊子を作ったわけ 成人病？生活習慣病？

生活習慣病と呼ばれる病気のうち、がん、脳血管疾患、心疾患の3つが、日本人の死因の約6割を占めると言われています。

「あれっ、これ成人病のことじゃないの？」と思った方もいられるでしょう。実は、最近まで「生活習慣病」は「成人病」と呼ばれていたもののなのです。普通、40歳以上の成年期から見られるもの、と考えられていた動脈硬化や糖尿病などは、子供のころからの生活習慣の積み重ねと、環境の要因などが重なり合って起こることが分かりました。最近では糖尿病・高血圧などの低年齢化傾向が見られます。

つまり、子供のころから良い生活習慣を送ることが、これらの病気の予防にとっても大切、ということなのです。

そこで登場！ 生活習慣病 予防指導用の冊子

この冊子は、小田原市学校保健会が、先生から子供たちへ、良い生活習慣を身につけることの大切さを伝えてほしい、と考えて作ったもの。市内の各小・中学校、幼稚園、保育園の教職員に指導用として配られました。

今、学校では、子供が朝食やおやつを自分自身で考えて選ぶ力を養うため、実際に養護の先生や栄養士が、子供たちと保護者に、塩分や糖分の実験をしながら指導しています。今後は保健体育の授業でも取り入れていく予定です。ご家庭でも、家族全員で生活習慣病について考えてみるというですね！



「生活習慣病とは？、食生活、運動、生活リズムと睡眠、たばことお酒」の5項目を掲載

有機野菜に こだわる！



額田さんご夫妻

☎農業委員会
331748

最近、八百屋やスーパーに並んでいる野菜の中で、「有機野菜」と書いてあるものをよく見かけます。これは主に、農薬や化学肥料を使用していない畑で、かつ3年以上堆肥で土づくりをした畑で栽培された野菜のことを言います。今、こうした環境や人にやさしい野菜が人気を呼んでいます。しかし、この栽培方法にもデメリットがあります。手間がかかるので、たくさん作ることができません。また、堆肥を購入しなくてはならないので、作るのに費用がかかります。出荷価格も高めになってしまつたのです。そんな中、小田原にも、この有機野菜にこだわり続けている人たちがいます。額田さんもその一人。『体にやさしいからいつも食べてますよ』と声をかけられると、自分はこの方法をずっと続けていこう、と思



野菜を入れる自家製のビニール袋には、「グルメ有機野菜」の文字と小田原城のマークが入っている。

わがまち よいとこ 応援事業

歴史再発見！ 今、橘が面白い！

新聞紙上をにぎわした橘地区の羽根尾遺跡。ここで縄文時代前期の貝塚が発見されたニュースはまだ記憶に新しいところ。

橘地区には相模人形芝居「下中座」や桜の馬場もあります。ここにはほかにも

知られていない素晴らしい資産がたくさんあるのです。

今回、橘地区有志の方による、たちばな歴史探訪の会が、

『たちばな歴史探訪のしおり』を作りました。

「ふるさとへの愛着を深めながらこのまちを再認識しようと考えました。作成にあたっては、地元の各自治会や橘商工会が積極的に応援してくださったことが大きな力になったと思います」と、代表の中代昌男さんは語ってくれました。

船津家から提供された、宝永5年(1707)富士山大噴火後の下中村絵地図を表紙に使えたことで、全体に風格が加わった、と自ら確かな手応えを感じていました。しかし、冊子の出来栄

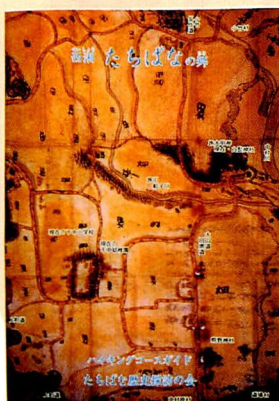
え以上に、まちの探訪や編集会議などで、寺社や街道などの由来や言い伝えに時間を忘れて談じ合った思い出が強く心に残っているようです。

中代さんをはじめとする会のメンバーたちは、これからも歴史を通してふるさとへの誇りや愛着をはぐくむ活動を続けていくことでしよう。

この冊子の作成にあたっては、市の「わがまちよいとこ応援事業」の補助金を利用されています。この事業では、ほかにも、まちに花を植える活動や、ほたるを守る会など、住民の皆さんの自主的なまちづくり活動を応援しています。

あなたの「わがまちよいとこ」は何ですか？どこかにきっと新しい発見があるはず！

☎市民交流課 ☎33-1703



しおりの発行部数は5000部。
橘地域全世帯などに配布されました。



7月
77が美しい。水に羊かん。
美味しい小田原の水たっぷり。和野菜の花

水羊かんは“水”が命です。幸いにして、菜の花工房の水は質がよく、井戸水を備長炭とセラミックを使いさらに浄化させ、おいしい水にしています。その水をたっぷり使って、竹の水羊かんはつくられます。竹に入ると香りと水分が逃げなくて、しっとりとなぜかやわらかめに仕上がるようです。竹林がなつかしい。



村木雄児 やきもの展 7月10日(土)~8月1日(日)
●うつわ・菜の花 TEL (24) 7020 11:00AM~6:00PM OPEN 水曜定休 小田原駅前お城通り ☎0465-23-1567 営業時間/午前10時~午後6時

生きている川の自然 水の回廊



小田原の川さまごまと循環する水
小田原には、富士山麓さんろく、丹沢・箱根山系を水源とする酒匂川や、早川、山王川など自然豊かな川があつて、その清らかな水は古くから人々の飲料水、米づくりなどに利用されてきました。アユ、フナ、コイをはじめとする魚類がすみ、それを求めて多くの野鳥がやってきます。人々の暮らしばかりか、さまざまな生き物たち

豊かな自然に恵まれた小田原。住み慣れてしまうと見過ごしがちなこの大きな財産を、このコーナーで見つめ直します。知らなかった生き物や植物との出会いが楽しみです。

日本自然保護協会 自然観察指導員
常盤 博(城山)

ちに大きな恵みをもたらしています。

川は水を通して、大気と海を結ぶ回廊です。同時に山と海を結び、地球環境を保っています。

酒匂川の歴史と文化
「流れ川だった酒匂川」

人の集落、文明の発達は、川の流域に始まるのが歴史で示されています。川は、流域に暮らす人々に、快適な自然環境と水の恵みをもたらします。しかし、ときに洪水を起こし、大量の土砂を押し流し、人の生活や生産の舞台を破壊します。

酒匂川が現在の流れに固定されたのは、江戸時代(1772年)の田中丘隅あきぐもによって、文命堤が築かれてからです。それ以前は、大口から沖積平野に幾筋もの自然の流れを作っていたようです。

洪水時には上流からたくさん土砂を押し流し、平野部に小高い中州や台地を作っています。現在も残る「岡」「台」「島」などの地名は、このころできた集落でしょう。

その後も、堤防はしばしば決壊し、川の恵みを受ける反面、大きな被害も受けています。二宮尊徳が行った治水事業はこの時代のもので、報徳橋近くの坂口堤には、顕彰碑(松苗碑)を見ることが出来ます。東町から酒匂橋を渡ると、左手に往時の「酒匂川渡し」の碑があり、旅人を悩ます川であつたことがしのべれます。歌川広重の描く浮世絵「東海道五十三次・小田原、酒匂川」は「存じ」の方も多いことでしょう。

酒匂川の自然度
「まきに母なる川」

酒匂川をはじめ市内の川の流域には、多くの動植物の生育に適した水辺の自然が残っています。

河畔には、ヤナギ群集、ヨシ・オギ・ススキ群集、トノサマバツタ、アオスジアゲハ、シジミチョウ、イトトンボの昆虫類、アユ、ウグイ、オイカワの魚類、カモメ、アオサギ、コサギ、カワセミの鳥類など多くの生き物がこの時期観察できます。

95年に日本自然保護協会が行った「全国一斉川の自然度しらべ」では、酒匂川は「すばらしい川」、早川は「まだ自然が残っています」の評価になっています。



酒匂橋わきにある「酒匂川渡し」の碑

ナック 夏のギフトコレクション'99

～お世話になったあの方へ感謝の気持ちを込めて～

ナック本館3Fギフトサロンでは漆器、和食器、洋食器、寝装具、インテリア雑貨、ガラス製品、食品、神奈川県産100選etc.を常時取り扱っています。ブライダル、ご出産、新築祝、快気祝、仏事などにご利用下さい。

お中元承り会

ナック本館3Fギフトサロンにて
7/25(日)まで開催中

ふるさとグルメ便&宅急便、贈り物図鑑、産地直送・生鮮ギフト、お好み特選ギフト等各種カタログもご利用頂けます。

営業時間 10:00～19:30 7月は休まず営業致します。

FASHION SPACE
NAK
ナック

ODAWARA OHORIBATA ST
TEL. 0465・24・2211

歩いて確かめてみよう

◆場所 小田急線栢山駅下車
報徳橋上部右岸・富士道橋右岸
(徒歩2時間)

◆観察ポイント

①川の区分 河原は洪水のたびに水中に没する不安定な環境ですので、冠水の度合いで不安定帯と呼ばれる沿水域と、不安定帯の高水域、安定帯の堤防域に分けることができます。

②報徳橋上部右岸の植生 沿水域では、増水時小石や土砂が移動するので、生育している植物は消滅します。ここではセリダンクサ、イヌタテ、アカザなどの1年生植物が見られます。

高水域では、1年生に加え、地表に枝を伸ばすツルヨシが目立ちます。そして、オギやススキが加わり、この仲間の草原群落になります。樹木ではヤナギ、クルミ、ニセアカシアなどが生育

しています。
安定帯の堤防域には、斜面にマツ、ムクノキ、エノキ、クスなど土手崩壊を防ぐ樹木が植えられています。そして、クス、チガヤ、ノイバラ、ハギが地表を覆っています。

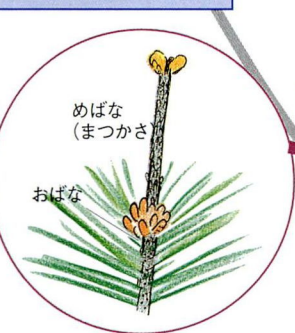
の方向に直角に止まっています。水中のものはケイトウがついているので表面は白くなっています。
④鳥の仲間 中州や岸辺のアシ、ススキの草原では、ヨシキリ、セッカが見られ、けたたましいキジの鳴き声を聞くことができます。

沿水域ではセキレイ、コサギ、カワラヒワや、空を飛ぶヒバリ、ツバメのほか、市の鳥コアジサシなども見られます。

⑤昆虫の仲間 ヨモギに付いているアワフキムシや、スジクロシロチョウ、ウラナミシジミ、アゲハなどのチョウの仲間、ハエトリグモ、ササグモなどクモの仲間が見られます。

⑥そのほか 水生昆虫トビケラ、カゲロウの幼虫、トンボの幼虫ヤゴ、ザリガニなどに接することができます。

酒匂川自然観察マップ



めばな
(まつかさ)

おばな

募集

酒匂川の自然観察

夏休みの自由研究にピッタリ!

「千年都市の自然」の執筆者、常盤博さんといっしょに酒匂川を歩いてみよう。自然観察マップを参考に、酒匂川河畔を歩いて、川の成り立ち、生き物の様子にふれ、豊かな酒匂川の自然を確かめてみよう。

日時 7月25日(日) 雨天中止

集合 9:00 栢山駅

解散 11:30 富水駅

定員 小学生以上20人(小学生は保護者同伴)・多数抽選

費用 50円(保険料代)

持ち物 筆記用具・帽子・水筒

申込方法 往復はがきで、往信面に氏名、年齢、電話番号、参加者が小学生の場合は保護者の氏名を書いて、7月15日(木)までに郵送(必着)

申込 〒250-8555 小田原市役所広報広聴室 ☎33-1261

こちらは、発泡スチロールを処理してカセットカバーなどに加工できる機械。あわせて導入しました。



これが国内初のバイオによる大型生ごみ処理機。

「環境にやさしくリサイクル」を合言葉に、研究を進めていたものです。
今まで産業廃棄物として処理していた生ごみが自分でリサイクルでき、しかも処理後の生ごみは堆肥として生まれ変わります。処理費用もいままでの半分以下になる画期的な機械です。

「自分のごみは自分で処理する」
今年6月、小田原市青果市場から出る生ごみをバイオ処理して、有機肥料にリサイクルできる大型生ごみ処理機が日本で初めて導入されました。

環境にこだわる！
日本初の
大型生ごみ処理機
を導入！

小田原
彩時記

心におみやげ、
見つけて小田原。